



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
コード番号 3600 URL <https://www.fjx.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,427	1.4	△33	—	30	—	102	—
2023年3月期第3四半期	4,364	7.7	△127	—	△83	—	△134	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 457百万円(20.1%) 2023年3月期第3四半期 381百万円(338.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	74.81	—
2023年3月期第3四半期	△97.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,397	9,854	79.7
2023年3月期	10,917	9,464	80.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,086百万円 2023年3月期 8,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,880	2.4	△81	—	23	—	97	—	71.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)― 、除外 1社(社名)上海富士克貿易有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	1,468,093株	2023年3月期	1,468,093株
2024年3月期3Q	91,445株	2023年3月期	91,425株
2024年3月期3Q	1,376,649株	2023年3月期3Q	1,376,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されて以降、経済活動全般は回復に向かいつつあり、インバウンド需要と共に国内個人消費も回復基調が続いているものの、国際情勢や円安基調を背景としたエネルギー資源や原材料の高騰を始め、国内諸物価の上昇が消費マインドに影響を及ぼすなど、先行きは不透明です。

アパレル・ファッション業界におきましては、流通在庫の補充も終了したことや、諸物価上昇等による消費の減退傾向を受けて、衣料品の生産も鈍化傾向に転じ、手芸関連業界でも、節約意識の高まりによる消費低迷が続くなど、両分野の縫い糸の商況は厳しさが増しております。

とりわけ当社グループにおきましては、一昨年の上海地域の新型コロナウイルス感染症対策に基づく中国子会社の2ヶ月にわたる事業停止による販売機会損失やその後の衣料品生産の中国離れなど、コロナ禍の様々な後遺症により、同国における事業は厳しい状況が続きました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、4,427百万円（前年同期比1.4%増）にとどまりました。

また利益面につきましても、一昨年以降実施した国内販売価格の改正や販売品目構成の変化など、増益要因もありましたが、製造コストの高止まりのなか、当社における受注の減少や中国子会社の回復遅れも響いて、営業損失は33百万円（前年同期は127百万円の損失）、経常利益は30百万円（前年同期は83百万円の損失）となりました。

なお、前年同期には上海地域のロックダウンによる事業停止に伴い、新型コロナウイルス関連損失80百万円を特別損失に計上しましたが、当第2四半期には、連結子会社であった上海富士克貿易有限公司の清算に伴う子会社清算益76百万円を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は102百万円（前年同期は134百万円の損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間は、当社の2023年4月から12月まで、国内子会社の2023年2月から10月までの業績が連結されております。

当四半期は、上述の通り、経済活動全般の回復傾向が続きましたが、アパレル・ファッション業界におきましては、コロナ禍で減少した流通在庫の補充も終了したこと、国内の諸物価上昇による消費マインドの低下もあって、衣料品の生産は分野ごとの程度差が見られるものの、秋口以降、全体的には鈍化傾向に転じました。

また一方で、自動車生産台数の回復傾向が続いたことにより、車両内装用縫い糸の受注は堅調を維持しましたが、手芸関連業界では、国内の諸物価上昇による節約意識の高まりを受けて、家庭用縫い糸を含む手芸関連商品は全般にわたって消費の低迷が続きました。

このような状況のなか、一昨年以降実施した縫い糸全般の販売価格改正は増収要因となりましたが、当社における受注の減少もあって当セグメントの売上高は、3,585百万円（前年同期比4.5%増）にとどまりました。

一方利益面は、価格改正や販売品目構成の変化は増益要因になりましたが、製造コストの高止まりや、当社における受注及び生産の減少もあって、セグメント利益は26百万円（前年同期は106百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間は、2023年1月から9月までの業績が連結されております。

当四半期は、上述の通り、日本向け衣料品は、コロナ禍で減少した流通在庫の補充や消費の回復に伴い、その生産は全般に増加傾向となりましたが、当社グループの中国事業におきましては、一昨年 of 厳しいコロナ政策による販売機会損失や日本向け衣料品の生産の中国離れが進むなど、コロナ禍の様々な後遺症が今なお続いていることで、当セグメントでウェイトの大きい中国子会社の受注は回復の見られぬ状況が続きました。これらにより、当四半期は円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、当セグメントの売上高は、842百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

また、利益面につきましても、製造コスト上昇のなか、販売価格への転嫁が困難であったアジア地域全体の状況に加えて、中国子会社における受注及び生産の回復遅れにより、セグメント損失は46百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて479百万円増加し、11,397百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少46百万円があったものの、投資有価証券の増加283百万円、棚卸資産の増加155百万円、電子記録債権の増加55百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、1,542百万円となりました。主な増減は、買掛金の減少47百万円があったものの、その他（流動負債）の増加72百万円、その他（固定負債）の増加79百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて390百万円増加し、9,854百万円となりました。主な増減は、親会社株主に帰属する四半期純利益102百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加196百万円、為替換算調整勘定の増加113百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期連結業績予想につきましては、2023年11月10日に「特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,660,522	2,614,362
受取手形及び売掛金	1,125,222	1,100,727
電子記録債権	229,780	285,298
棚卸資産	2,678,504	2,834,129
その他	59,687	63,995
貸倒引当金	△2,936	△2,187
流動資産合計	6,750,780	6,896,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880,948	1,868,701
その他(純額)	709,814	751,624
有形固定資産合計	2,590,762	2,620,326
無形固定資産		
その他	207,476	229,977
無形固定資産合計	207,476	229,977
投資その他の資産		
投資有価証券	1,094,977	1,378,541
その他	273,775	273,310
貸倒引当金	—	△1,144
投資その他の資産合計	1,368,752	1,650,707
固定資産合計	4,166,992	4,501,011
資産合計	10,917,772	11,397,337
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,217	388,343
未払法人税等	16,751	23,749
賞与引当金	43,843	21,178
その他	177,415	249,432
流動負債合計	674,227	682,704
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,073	222,801
退職給付に係る負債	51,076	55,112
資産除去債務	32,788	32,788
その他	469,552	549,283
固定負債合計	779,490	859,985
負債合計	1,453,718	1,542,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,057,393	6,091,543
自己株式	△109,313	△109,342
株主資本合計	7,642,493	7,676,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	412,272	609,236
為替換算調整勘定	698,158	812,097
退職給付に係る調整累計額	△13,982	△11,283
その他の包括利益累計額合計	1,096,448	1,410,049
非支配株主持分	725,112	767,984
純資産合計	9,464,054	9,854,647
負債純資産合計	10,917,772	11,397,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,364,867	4,427,467
売上原価	3,327,667	3,288,401
売上総利益	1,037,200	1,139,066
販売費及び一般管理費	1,164,308	1,172,203
営業損失(△)	△127,108	△33,137
営業外収益		
受取利息	6,507	5,758
受取配当金	33,253	39,246
賃貸料収入	17,989	18,038
その他	17,637	16,818
営業外収益合計	75,386	79,861
営業外費用		
賃貸料収入原価	7,704	7,730
為替差損	19,824	4,750
その他	4,231	4,184
営業外費用合計	31,760	16,665
経常利益又は経常損失(△)	△83,482	30,058
特別利益		
固定資産売却益	553	4,515
子会社清算益	—	76,838
特別利益合計	553	81,354
特別損失		
固定資産売却損	767	—
固定資産除却損	—	1,355
新型コロナウイルス関連損失	80,247	—
特別損失合計	81,015	1,355
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△163,944	110,056
法人税、住民税及び事業税	20,367	36,126
法人税等調整額	△13,665	△10,400
法人税等合計	6,702	25,726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170,646	84,330
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,592	△18,652
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134,054	102,983

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170,646	84,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,263	196,963
為替換算調整勘定	408,242	173,739
退職給付に係る調整額	7,206	2,698
その他の包括利益合計	551,713	373,401
四半期包括利益	381,066	457,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,027	416,584
非支配株主に係る四半期包括利益	54,039	41,148

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった上海富士克貿易有限公司は清算に伴い、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,430,934	933,933	4,364,867	—	4,364,867
外部顧客への売上高	3,430,934	933,933	4,364,867	—	4,364,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221,729	331,286	553,015	△553,015	—
計	3,652,663	1,265,219	4,917,883	△553,015	4,364,867
セグメント損失(△)	△106,790	△20,585	△127,375	267	△127,108

(注) 1. セグメント損失の調整額267千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,585,273	842,194	4,427,467	—	4,427,467
外部顧客への売上高	3,585,273	842,194	4,427,467	—	4,427,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	224,134	567,778	791,913	△791,913	—
計	3,809,407	1,409,972	5,219,380	△791,913	4,427,467
セグメント利益又は損失(△)	26,816	△46,172	△19,355	△13,781	△33,137

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△13,781千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。